

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報											整理番号	056								
事務事業名	公共施設等マネジメント推進経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単			終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算	会計名	一般会計		款	項	目	事業
担当部	総務部	担当課	資産管理課		担当係	施設マネジメント係														
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 公共施設総合管理計画)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の概要											<input checked="" type="checkbox"/> 予算事業全体について記入して下さい。			
対象	公有財産、事業、職員					内容・手段	①職員の知識向上及び意識改革を図り、各種事業でのPPP(官民連携)を推進する。 ②財源を確保するため、受益者負担の適正化、資産の有効活用及び維持管理コストの削減を進める。 ③統一的な施設管理及び施設データの一元管理を導入し、計画的な維持修繕及び施設の適正配置を進める。							
目的	公有財産を自治体経営にとって、最適な状態(コスト最少・効果最大)で保有し、運営し、維持することで、安心・安全でより高品質な公共サービスを提供する。													

3 事務事業の主たる成果指標											<input checked="" type="checkbox"/> 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく具体的に記入してください。				
指標名	公共施設に係る歳出削減額及び資産を活用した歳入増加額		単位	千円	目標値	10,000	目標年次	令和4	年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	公共施設マネジメントの目的は、施設面積の削減ではなく、公共施設に係る歳出削減及び資産を活用した歳入増加である。よって、歳出削減額及び歳入増加額を合わせた金額を指標とした。				

4 事務事業の実績 ①															
平成29年度					2年間の主な事業内容(実績)										
決算額	1,183,120	円	特定財源		円	前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)				
			内訳	一般財源		1,183,120	①公共施設等マネジメント支援業務 ・職員研修 1回 ・公共施設マネジメント事業化協議 7日 ・公共施設マネジメントプロジェクト発表 1回 ③公共施設の有効活用に向けたサウンディング調査の実施 市有地売却, LED化及びESCO事業, 保健センターの有効活用, あすなるの里有効活用, 豊田城有効活用 ④市有地売却プロポーザル 売却実績 2件, 売却金額 302,360千円 ⑤Yahoo官公庁オークション 売却実績 4件, 売却金額 5,441千円 ⑥職員研修の開催 1回 秦野市政策部公共施設マネジメント課志村課長 ⑦包括施設管理業務委託に関する議員視察研修 1回 東村山市 ⑧使用料の適正化 10月に条例改正					①公共施設等マネジメント支援業務 ・職員研修(新規採用, 未受講者対象) 1回 ・公共施設マネジメント案件協議 6回 ②公共施設等運用戦略会議の設置 7月に設置し, 会議を5回開催 ③公共施設マネジメント民間提案制度の募集 8件を協議対象として採用し, 詳細協議を実施 ④全国初のトライアル・サウンディングを実施 トライアル事業の実施 4件(あすなるの里) ⑤外部研修, セミナーの出席 先進事例視察(沼津市), 市町村アカデミー ほか ⑥JFMA賞に応募し, 奨励賞を受賞 ⑦公共施設マネジメント職員研修 3回 東洋大学南教授 2回, 鳥取市宮谷係長 ⑧Yahoo官公庁オークション 3回参加 売却実績 3件, 売却金額 1,859千円 ⑨常総市の取組事例発表 11件 市町村アカデミー, つくば市職員研修 ほか ⑩公共施設マネジメントに関する視察受入 9件 長岡市, 八王子市, 流山市, 横浜市 ほか			
目標に対する実績値				0	千円										
(住民一人あたりの行政コスト)				20	円										
平成30年度															
決算額	1,142,379	円	特定財源		円	前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)				
			内訳	一般財源		1,142,379	①公共施設等マネジメント支援業務 ・職員研修 1回 ・公共施設マネジメント事業化協議 7日 ・公共施設マネジメントプロジェクト発表 1回 ③公共施設の有効活用に向けたサウンディング調査の実施 市有地売却, LED化及びESCO事業, 保健センターの有効活用, あすなるの里有効活用, 豊田城有効活用 ④市有地売却プロポーザル 売却実績 2件, 売却金額 302,360千円 ⑤Yahoo官公庁オークション 売却実績 4件, 売却金額 5,441千円 ⑥職員研修の開催 1回 秦野市政策部公共施設マネジメント課志村課長 ⑦包括施設管理業務委託に関する議員視察研修 1回 東村山市 ⑧使用料の適正化 10月に条例改正					①公共施設等マネジメント支援業務 ・職員研修(新規採用, 未受講者対象) 1回 ・公共施設マネジメント案件協議 6回 ②公共施設等運用戦略会議の設置 7月に設置し, 会議を5回開催 ③公共施設マネジメント民間提案制度の募集 8件を協議対象として採用し, 詳細協議を実施 ④全国初のトライアル・サウンディングを実施 トライアル事業の実施 4件(あすなるの里) ⑤外部研修, セミナーの出席 先進事例視察(沼津市), 市町村アカデミー ほか ⑥JFMA賞に応募し, 奨励賞を受賞 ⑦公共施設マネジメント職員研修 3回 東洋大学南教授 2回, 鳥取市宮谷係長 ⑧Yahoo官公庁オークション 3回参加 売却実績 3件, 売却金額 1,859千円 ⑨常総市の取組事例発表 11件 市町村アカデミー, つくば市職員研修 ほか ⑩公共施設マネジメントに関する視察受入 9件 長岡市, 八王子市, 流山市, 横浜市 ほか			
目標に対する実績値				307,801	千円										
(住民一人あたりの行政コスト)				19	円										
令和元年度															
決算額	312,401	円	特定財源		円	前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)				
			内訳	一般財源		312,401	①公共施設等マネジメント支援業務 ・職員研修 1回 ・公共施設マネジメント事業化協議 7日 ・公共施設マネジメントプロジェクト発表 1回 ③公共施設の有効活用に向けたサウンディング調査の実施 市有地売却, LED化及びESCO事業, 保健センターの有効活用, あすなるの里有効活用, 豊田城有効活用 ④市有地売却プロポーザル 売却実績 2件, 売却金額 302,360千円 ⑤Yahoo官公庁オークション 売却実績 4件, 売却金額 5,441千円 ⑥職員研修の開催 1回 秦野市政策部公共施設マネジメント課志村課長 ⑦包括施設管理業務委託に関する議員視察研修 1回 東村山市 ⑧使用料の適正化 10月に条例改正					①公共施設等マネジメント支援業務 ・職員研修(新規採用, 未受講者対象) 1回 ・公共施設マネジメント案件協議 6回 ②公共施設等運用戦略会議の設置 7月に設置し, 会議を5回開催 ③公共施設マネジメント民間提案制度の募集 8件を協議対象として採用し, 詳細協議を実施 ④全国初のトライアル・サウンディングを実施 トライアル事業の実施 4件(あすなるの里) ⑤外部研修, セミナーの出席 先進事例視察(沼津市), 市町村アカデミー ほか ⑥JFMA賞に応募し, 奨励賞を受賞 ⑦公共施設マネジメント職員研修 3回 東洋大学南教授 2回, 鳥取市宮谷係長 ⑧Yahoo官公庁オークション 3回参加 売却実績 3件, 売却金額 1,859千円 ⑨常総市の取組事例発表 11件 市町村アカデミー, つくば市職員研修 ほか ⑩公共施設マネジメントに関する視察受入 9件 長岡市, 八王子市, 流山市, 横浜市 ほか			
目標に対する実績値				1,859	千円										
(住民一人あたりの行政コスト)				5	円										

5 担当課評価 ③											<input checked="" type="checkbox"/> 実施したことによる成果や課題を記入してください。				
成果	目標どおり														
成果内容分析	平成29年度から職員研修及び公共施設マネジメント協議などを継続して実施してきた。その結果、今年度は公共施設マネジメント民間提案制度の導入、全国初のトライアル・サウンディングの実施などの成果が得られた。これらの取組により、次年度は公民連携事業により、維持管理コストの削減及び資産の有効活用が図られる見込みである。また、公共施設等に関する意思決定機関として公共施設等運用戦略会議を設置し、全庁的に検討していく体制を構築した。														
課題	今後は、これまでの取組に加えて、計画的な維持修繕及び施設の適正配置を進めていく必要がある。そのために、施設の利用状況、点検結果、工事履歴及び管理経費等のコスト情報を一元管理し、そのデータを用いた施設評価を行うシステムを導入する。客観的なデータ及び施設評価を市民と共有し対話を行うことで、公共施設マネジメントをさらに進めていく。														

7 実施計画 ②											<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間について、何を・どの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。											
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度											
事業内容	①公共施設等運用戦略会議の開催 年4回定期開催 各種FM施策の方針決定, 施設の有効活用, 遊休資産の活用, 個別施設計画の検討 ②公共施設マネジメントシステム構築業務 ・施設データの一元管理に向けたデータ構築 ・公会計情報及び固定資産台帳との連動, 活用を検討 ③公共施設マネジメント民間提案制度 ・事業化: LED化等省エネルギー事業, 広告付きAED無償提供事業, 自動販売機を活用した防災備蓄品の整備事業 ・第2回公共施設マネジメント民間提案制度の募集 ④公民連携の推進 サウンディング, トライアル・サウンディング, 地元企業との連携 ⑤公共施設マネジメント職員研修の実施 2回 ⑥外部研修, セミナーへの出席 ⑦Yahoo官公庁オークション					①公共施設等運用戦略会議の開催 各種FM施策の方針決定, 施設の有効活用, 遊休資産の活用, 公共施設等総合管理計画の見直し, 施設の適正配置検討 ②公共施設マネジメントシステムの運用及び活用 ・施設データの一元管理及び活用 ・公会計情報及び固定資産台帳との連動, 活用 ③公共施設マネジメント民間提案制度 ・事業化: LED化等省エネルギー事業(2期) ほか ・第3回公共施設マネジメント民間提案制度の募集 ④公民連携の推進 サウンディング, トライアル・サウンディング, 地元企業との連携 ⑤公共施設マネジメント職員研修の実施 2回 ⑥外部研修, セミナーへの出席					①公共施設等運用戦略会議の開催 各種FM施策の方針決定, 施設の有効活用, 遊休資産の活用, 施設の適正配置検討 ②公共施設マネジメントシステムの運用及び活用 ・施設データの一元管理, 活用 ・公会計情報及び固定資産台帳との連動, 活用 ③公共施設マネジメント民間提案制度 ・事業化 ・第4回公共施設マネジメント民間提案制度の募集 ④公民連携の推進 サウンディング, トライアル・サウンディング, 地元企業との連携 ⑤公共施設マネジメント職員研修の実施 2回 ⑥外部研修, セミナーへの出席											
	成果指標	公共施設に係る歳出削減額及び資産を活用した歳入増加額		単位	千円	目標値	5,000	指標名	公共施設に係る歳出削減額及び資産を活用した歳入増加額		単位	千円	目標値	7,500	指標名	公共施設に係る歳出削減額及び資産を活用した歳入増加額		単位	千円	目標値	10,000	
	予算額	歳出	計			2,011	千円	歳出	計			2,011	千円	歳出	計			2,011	千円			
		歳入	特定財源				千円	特定財源				千円	特定財源				千円	特定財源				千円
			一般財源			2,011	千円	一般財源			2,011	千円	一般財源			2,011	千円	一般財源			2,011	千円
	計			2,011	千円	計			2,011	千円	計			2,011	千円	計			2,011	千円		

6 担当部長評価 ④											<input checked="" type="checkbox"/> 担当部長で協議のうえ、評価してください。				
事務事業の方向性															
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止															
評価理由	今後、市が保有する公共施設の全てを維持し、更新していくことは、人口の増加が望めない現状では極めて困難であることから、市民と課題の共有を図りつつ、公民連携を導入するなどして最適な施設管理を確立していくことが重要である。このため、令和元年度においては、全庁的に協議を進めるための戦略会議を設置して効果的にこれを運用し、また、民間提案制度による有益な施設管理の事業化や実践的な研修による施設所管課担当職員の意識改革などが図られ、着実に施設マネジメントの推進による成果が得られつつある。引き続き、事業内容に掲げられた取組をしっかりと実施し、なお一層の施設の有効活用、適正配置の検討などを進められたい。														

8 行政改革懇談会(市民)の意見														
担当部長評価のとおりでよい。 人口減少社会において、市が保有する公共施設すべてを維持、更新していくことが極めて困難であることは理解できる。この課題を市民と共有し、本事業による財政面のメリットなどを示しながら、公民連携を推進し最適な施設管理に努められたい。														

9 最終評価(行政改革推進本部) ⑤															
事務事業の方向性															
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止															
評価理由	民間提案制度により新たな財政負担なく施設のLED化などの事業が進められ、また、トライアルサウンディングにより施設の持つ価値や可能性の確認ができたことは大きな成果である。公共施設の最適化については、その利用状況や費用対効果を分析し、客観的な評価に基づく優先順位を早期に定め、中長期的な方針を確立して取り組む必要がある。引き続き市民の理解を得ながら着実に施設マネジメントを推進されたい。														

10 事務事業の改善点と理由 ⑥											<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画のみ作成する場合も記入してください。			
事業内容														